



学校だより
**桜っ子
通信**

自ら学び
自ら考え
自ら行う

令和3年11月26日 第25号
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

第20回桜っ子くんちを終えて

8月末からの新型コロナウイルス感染症の流行拡大で、一時は開催が危ぶまれた桜っ子くんちでしたが、11月21日(日)盛会のうちに終えることができました。職員一同、心から安堵しております。これもひとえに、ご多用な中にもかかわらず、熱心に御指導していただいた指導者の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。また、保護者の皆さんには、新型コロナウイルス感染症対策としての参加者制限等に御協力いただき、ありがとうございました。あわせて、PTA本部役員の方には、受付や会場整理等を担っていただき、感謝申し上げます。

さて、以前の学校便りでもお知らせしましたが、今年は、桜っ子くんちを開催するにあたり、職員で子どもたちが、この桜っ子くんちを通して何を学ぶのか、どのように関わっていくのかを改めて検討し、関係する生活科及び総合的な学習の時間のカリキュラムを見直すところから始めました。そして、演しもの(だしもの)の稽古に入る前に、地域の方や歴史文化博物館の学芸員の方にお越しいただいて、長崎くんちの歴史や演し物の由来、御神輿や御囃子についてなど、分かりやすくお話ししていただきました。また、限られた稽古の時間が有意義な時間になるように、指導者の方に教えていただいたことや気を付けないといけないことなどを模造紙に書き出し、見える化することで、子どもたちの意識も高まっていきました。そして、次の稽古までに、できるようにならないといけないことを理解し、自主練習に励む姿が見られました。各学年の実態に応じて、子どもたちが主体的かつ探求的に桜っ子くんちに関わる姿が見られたことは、大きな一歩でした。あわせて、厳しい御指導や叱咤激励を受けて、全力で取り組むことの大切さや仲間と協力することの大切さなどを学ぶことができたことは、桜っ子にとって大きな財産となったと思います。桜っ子の皆さん、よく頑張りました。そして、子どもたちをしっかりと見守りサポートした先生方、お疲れ様でした。「よいや——!!」

今回も、タシロフォートスタジオ様から、写真データをいただきました。その一部を裏面に載せておりますので、御覧ください。タシロフォートスタジオ様の御厚意に感謝申し上げます。

2学期も残りわずかとなりました

運動会、桜っ子くんちと子どもたちにとって充実した2学期ですが、次週から12月となり、今学期の学習や学校生活を振り返る大切な時季となりました。12月24日(金)の2学期終業式も含めて残りの20日間、お子さんが元気に登校できるよう、今一度、生活時間や食生活を見直して、十分な睡眠と休養、バランスのとれた食事がとれるよう、よろしくお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症については、ここのところ、落ち着いている状況が続いていますが、油断は禁物です。例年、この季節に流行するインフルエンザと同様に、気温が下がり、空気が乾燥してくるとウイルスは、拡散しやすくなります。学校でも、マスクの着用や手洗いの励行、換気の徹底等の感染対策をしっかりと行っていきますので、各家庭におかれましても、お子さんの朝の検温、体調の把握を引継ぎよろしくお願いします。

なお、これまで通り、お子さんに発熱及び風邪症状が見られる場合は、出席停止となります。しかしながら、**健康観察記録表の風邪症状の欄にチェックがついているのに登校してきたために、保護者に連絡して、お迎えに来てもらう状況が散見されます。**毎朝、御多用とは存じますが、健康観察記録表の最終確認を確実にお願いします。

税金でふるさとを守る 未来のために

本校6年生が「税に関する絵はがきコンクール」(長崎法人会主催)に応募しました。このコンクールは、小学生にも、税の大切さや税の果たす役割について学んでもらい、その知識や感想を絵はがきに表すことで、税に対する理解をより深めてもらうことが目的としております。今回のコンクールには、長崎税務署管内の41校の小学校から、847通の応募がありました。そして、厳正な審査の結果、〇〇 〇〇 さんの作品が見事に、特別賞 長崎税務署長賞に選出されました。「これからも、税金を活用して、長崎にある建物などを守ってほしいという願いを込めて書きました。小さい葉書に描くのは大変でしたが、丁寧に仕上げました。」と〇〇さんが話してくれました。長崎に対する思いのこもった、すばらしい作品でした!



